

# 女性特有のがん対策について (提言書)

平成26年3月28日  
女性特有のがん対策専門会議

## 1 はじめに

この会議においては、平成25年3月に愛知県が策定した「愛知県がん対策推進計画(第2期)」において、新たに個別目標に掲げられた「女性特有のがんに係るがん対策」の課題である「女性特有のがんに関する正しい知識の普及」と「女性が検診等を受診しやすい環境づくり」に関し、現状の分析を行うとともに、今後の取組の方向性について検討し、その結果を以下のとおりとりまとめた。今後、愛知県において、この提言に基づく施策が実行され、「女性特有のがんに係る対策」がより一層推進されることを期待する。

## 2 基本的な考え方

### <女性特有のがんに関する正しい知識の普及>

女性特有のがんである子宮頸がん和乳がんでは、がん検診受診推奨年齢が異なるため、対象年齢を絞って効率的に知識普及を行う必要がある。また、がん検診受診率向上のためには、がんに関心がなく、がん検診の意義を理解していない層への知識普及が必要である。そのため、対象年齢の女性が多く所属する団体等と連携し、教育や啓発活動を行っていくことが有効と考える。さらに、子宮体がん、卵巣がんといった、他の女性特有のがんや、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群についても、正しい知識を普及していくことが望まれる。

### <女性が検診等を受診しやすい環境づくり>

女性が検診等を受診しやすい環境づくりを推進するためには、医療機関等と連携した取組が不可欠である。既に医療機関等においては、様々な取組が行われているが、さらなる推進を図るとともに、受診をためらう傾向にある女性が、がん検診を受診し、また、自覚症状がある場合に適切に早期受診するよう、有用な情報提供等を行うことが必要である。

## 3 具体的な取組に当たっての留意事項

### <女性特有のがんに関する正しい知識の普及>

- ・子宮頸がんについては、性交渉によるHPV感染が主な発症原因であることを踏まえ、中学生、高校生への性教育や健康教育において、子宮頸がんについて学ぶ機会が設けられることが望まれる。また、中学生、高校生の保護者に対しても子宮頸がんに関する正しい知識を周知することが望まれる。
- ・子宮頸がん検診については、10代後半から20代を重点的な啓発対象年齢とし、大学や専門学校等と連携した啓発活動を行うことが有効と考える。

- ・乳がんについては、自己触診の重要性を広く周知するとともに、乳がんの多様性（しこりの有無等、症状が画一的でないこと等）に配慮して、正しい知識を周知していく必要がある。
- ・乳がん検診については、30代後半から40代を重点的な啓発対象年齢とし、PTA、子育て支援団体、企業等と連携した啓発活動を行うことが有効と考える。
- ・子宮頸がん、乳がんともに、罹患率は50代後半まで上昇するため、幅広い年齢層への知識普及も必要であることから、例えば親から子へ、子から親へといった、若年層と中高年層が互いに啓発し合えるような取組も有効と考える。
- ・がん相談支援センターやがん患者支援団体等と連携し、がん専門相談員やがん治療経験者の体験を紹介することで、がん検診の重要性を伝えていく取組も有効と考える。
- ・がん検診への関心をより高めるためには、受診者の生活習慣等に関連するがん発症の具体的な危険因子を、科学的根拠に基づき、情報提供していくことが望まれる。
- ・まずは、市町村がん検診として実施されている子宮頸がん、乳がんについて、広く周知していくことが必要であるが、今後、子宮体がん、卵巣がんといった、他の女性特有のがんや、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関しても、周知を図っていくことが望まれる。

#### <女性が検診等を受診しやすい環境づくり>

- ・本会議において「女性が受診しやすい環境づくりに関する取組に関する調査」を実施し、医療機関等における女性が検診等を受診しやすい環境づくりに関する取組を把握した。既に医療機関等においては、様々な取組が行われているが、この調査結果を医療機関等へ情報提供し、共有することにより、さらなる推進が図られるものとする。
- ・女性は、検診や受診をためらう傾向もあることから、女性医師が配置されている医療機関の紹介等、女性が受診する際に参考となる具体的な情報を提供していく必要がある。また、自覚症状がある場合は、検診ではなく医療機関を受診する等、適切な受診を呼びかけていく必要がある。
- ・がん検診の意義及び内容等について、受診者へ正しく伝えることができる汎用性のある資料を作成し、医療機関等において活用するとともに、県民に広く周知することが望まれる。

## 女性特有のがん対策専門会議 委員名簿

- 岩田 広治 愛知県がんセンター中央病院副院長  
金岡 益代 あけぼの会愛知支部支部長  
近藤 良伸 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課長  
恒川 典子 一宮市立市民病院管理看護師長  
長谷川 よし江 公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団総合健診センター副課長  
水野 美香 名古屋大学医学部附属病院講師

(敬称略、五十音順、○は座長)

## 女性のがん対策専門会議 開催実績

第1回会議 平成25年8月21日

議題：女性特有のがん対策について

協議内容：女性特有のがん対策に関する課題の整理

「女性が受診しやすい環境づくりに関する調査」の実施

第2回会議 平成26年1月22日

議題：女性特有のがん対策について

協議内容：女性特有のがん対策に関する取組の方向性

「女性が受診しやすい環境づくりに関する調査結果」の活用方法